



〔撮影場所;門司区大里戸ノ上〕

カツラ科 カツラ (桂) 落葉広葉高木 樹高15~20m

大木では高さ35m、直径2mにもなり、しばしば一つの株から数本の幹を出す。  
葉は3~8cmの広卵形で基部は浅い心形。春の新緑、秋の黄葉ともに美しい。  
庭木、並木、公園樹の他、船舶、建築、家具、楽器、彫刻材、鉛筆などにも使われる。雌雄異株で移植が容易。



葉と幹肌  
広卵形の葉と暗灰褐色の幹肌。  
カツラの樹皮は樹齢の若い時  
から割れ目がある。

